施策評価シート

1 総合計画上の位置づけ

施策名	26 交通安全•防犯対策	
政策名	安心な「暮らし」を守る	
施策がめざす 将来の姿	・市民一人ひとりが交通安全や防犯の知識を持ち、事を送っています。	放や犯罪の未然防止による安全な日常生活

③ 施策評価指標

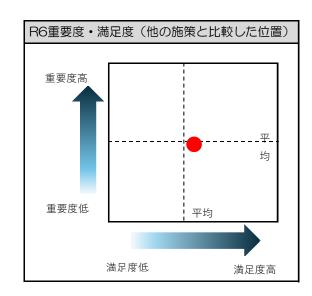
成果指標名	単位	後期当初値	初値 令和9年度目標		
交通安全教室参加	人	4,792	S	9,000	
文迪女王叙至参加 者数	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	5297	5953			

3 施策の重要度と満足度(市民アンケート調査結果)

重要度/単位(人)
令和6年度
224

満足度(満足している市民の割合)/単位(%)					
令和5年度		令和6年度			
92.3		89.0			

※増減(→)の基準は3ポイント以上とする



担当課: 危機管理課

4 施策の課題と今後の方針

(施策評価指標等の分析のほか、今後重点化していく事務事業について、現状・課題・背景などを踏まえて記載。)

高齢者が被害者・加害者双方になっている交通事故や、電話による詐欺、悪質な電話勧誘による高齢者の被害が増加しています。これらの事態を未然に防止するため、特に高齢者に対する交通安全事業及び、防犯対策事業に注力します。

- 令和5年4月より自転車乗車時のヘルメット着用が努力義務となった。ヘルメット着用を促進するため令和5年度より自転車乗車用ヘルメット購入助成制度を開始しました。自転車利用世代を中心に制度の周知を積極的に展開しヘルメット着用率の向上を目指します。
- 令和6年10月より防犯機能付電話機等購入助成制度を開始しました。高齢者方々に制度の周知を積極的に展開し、防犯機能付電話機の設置を推進します。

5 施策を構成する事務事業の今後の方向性

(右欄は、施策を構成する事務事業のうち、今後特に重点化するものに○、縮小するものに△、廃止するものに▲を付す。)

事務事業(1): 交诵安全教育普及事業

	<u> 尹劝尹未</u> ①,	· 义世女主教自日以尹 》	<u> </u>			
	R6決算額	重点化(縮小)する細事業	方向性		事務事業の今後の方向性	
l	(千円)	(主なもの2事業まで)	事業費	成果	事効争未のブ後の万円は	重点化
9,645	交通専任指導員等報酬	→	1	四季の交通安全運動期間の啓発事業を例年通りではなく、内容や場所などを変更するなど、より効果的な啓発事業となるよ		
				う見直します。		

事務事業②:防犯事業

	尹仂尹未公	<u>· </u>				
	R6決算額	重点化(縮小)する細事業	方向性		事務事業の今後の方向性	重点化
	(千円)	(主なもの2事業まで)	事業費	成果	争物争未のブ後の方には	里川山
		防犯カメラ設置事業補 助金	→	→	関心がある自治会も多いため、助成制度の周知活動を一層展 開するが、申請数の状況により事業費の縮小も検討します。	
	3,570					